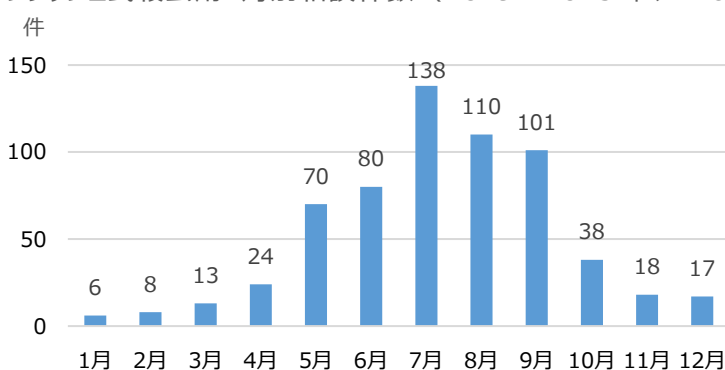


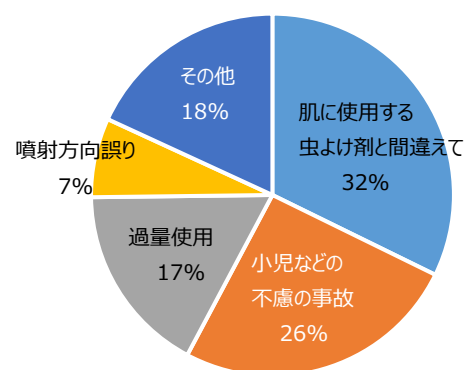
ワンプッシュ式殺虫剤を肌にスプレーする事故に注意しましょう！

ワンプッシュ式殺虫剤とは、1回プッシュすると一定量の薬剤が噴射され、有効成分が空間に広がって効果が長時間持続する、小型のスプレー製品です。中毒110番では、気温が高くなり虫が増える季節になると、ワンプッシュ式殺虫剤に関する相談が増加します。

ワンプッシュ式殺虫剤 月別相談件数（2019～2023年、n=623）



事故の発生状況



ワンプッシュ式殺虫剤の事故の特徴は、肌にスプレーする虫よけ剤と間違えて使用する事故が多いことです。以下のような問い合わせがあります。

「使用方法を確認せず、肌に見える虫よけ剤と思い込んで腕や脚にスプレーした。」

「虫よけ剤と同じところに保管していたワンプッシュ式殺虫剤を取り違えて肌にスプレーした。」

殺虫剤が皮膚に付着すると30分～数時間ほどで薬剤の付着した部分にピリピリ感などの感覚異常が出現します。感覚異常は、通常24時間程度で改善しますが、洗浄の際にお湯を用いると悪化させることがありますので、皮膚に付着した場合は石鹸と水で十分に洗浄しましょう。

● 虫よけ剤、ワンプッシュ式殺虫剤を使用する場合は、事故防止のために以下の点に注意しましょう。

- ・ 購入時、また使用前に、使用方法や注意書きをよく確認しましょう。
- ・ 虫よけ剤を使用する前に、他のスプレーと間違えていないか確認しましょう。
- ・ 虫よけ剤とワンプッシュ式殺虫剤は離れた場所に保管しましょう。
- ・ 子どもの手の届かないところに保管しましょう。

事故が発生し、受診すべきか判断に迷った場合は中毒 110 番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番電話サービス（一般向け 365日 24時間対応）

■ 大阪中毒 1 1 0 番 072-727-2499 ■ つくば中毒 1 1 0 番 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター（本部事務局 電話：029-856-3566）の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。